

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 1 月 28 日 (2021.1.28)

【公開番号】特開 2020-196712 (P2020-196712A)

【公開日】令和 2 年 12 月 10 日 (2020.12.10)

【年通号数】公開・登録公報 2020-050

【出願番号】特願 2020-94841 (P2020-94841)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/81 (2006.01)

A 6 1 Q 1/00 (2006.01)

A 6 1 Q 19/00 (2006.01)

A 6 1 K 8/85 (2006.01)

A 6 1 K 8/34 (2006.01)

A 6 1 K 8/891 (2006.01)

A 6 1 K 8/31 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 8/81

A 6 1 Q 1/00

A 6 1 Q 19/00

A 6 1 K 8/85

A 6 1 K 8/34

A 6 1 K 8/891

A 6 1 K 8/31

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 11 月 10 日 (2020.11.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

次の成分 (a) 及び (b) ;

(a) 平均繊維径 $0.1 \mu\text{m}$ 以上 $7 \mu\text{m}$ 以下、アスペクト比 (平均繊維長 / 平均繊維径) 8 以上 300 以下の繊維 皮膜形成組成物全体に対して 0.5 質量% 以上 10 質量% 以下、及び

(b) 水、アルコール、アミド類、揮発性シリコン及び揮発性炭化水素から選ばれる 1 種以上の揮発性成分 皮膜形成組成物全体に対して 15 質量% 以上 90 質量% 以下を含有し、(平均繊維径)² / 繊維含有量 (μm^2 / 質量%) が 0.005 以上 7 以下であって、成分 (a) と成分 (b) の含有量の合計が 97 質量% 以下である 皮膚用 皮膜形成組成物。

【請求項 2】

次の成分 (a) 及び (b) ;

(a) 平均繊維径 $0.1 \mu\text{m}$ 以上 $7 \mu\text{m}$ 以下、アスペクト比 (平均繊維長 / 平均繊維径) 8 以上 300 以下の繊維 皮膜形成組成物全体に対して 0.5 質量% 以上 10 質量% 以下、及び

(b) 揮発性成分 皮膜形成組成物全体に対して 15 質量% 以上 90 質量% 以下を含有し、(平均繊維径)² / 繊維含有量 (μm^2 / 質量%) が 0.005 以上 7 以下であって

、成分（a）の繊維長のCV値が40%以上100%以下であり、成分（a）と成分（b）の含有量の合計が97質量%以下である皮膜形成組成物。

【請求項3】

次の成分（a）、（b）及び（c）；

（a）平均繊維径0.1μm以上7μm以下、アスペクト比（平均繊維長/平均繊維径）8以上300以下の繊維 皮膜形成組成物全体に対して0.5質量%以上10質量%以下、

（b）揮発性成分 皮膜形成組成物全体に対して15質量%以上90質量%以下、及び（c）不揮発性油剤及びポリオールから選ばれる1種又は2種以上

を含有し、（平均繊維径）²/繊維含有量（μm²/質量%）が0.005以上7以下であって、成分（a）と成分（b）の含有量の合計が97質量%以下である皮膜形成組成物。

【請求項4】

成分（a）が水不溶性ポリマーを含む請求項1～3のいずれか1項に記載の皮膜形成組成物。

【請求項5】

成分（b）が水、エタノール、シリコン及びイソドデカンから選ばれる1種以上を含む請求項1～4のいずれか1項に記載の皮膜形成組成物。

【請求項6】

20における粘度が5mPa・s以上50000mPa・s以下である請求項1～5のいずれか1項に記載の皮膜形成組成物。

【請求項7】

請求項1～6のいずれか1項に記載の皮膜形成組成物を皮膚に適用する工程を含む、皮膚表面上における皮膜の製造方法。